

---

# リハビリテーション臨床実習の手引き

---

## 【実習にあたって】

私たちは、医療現場で活躍したいと願う学生を支援したいと考えています。学校で学んだことを、実際の臨床現場で体験し成長する機会です。積極的に学び、吸収し、成長してください！

## 【実習指導指針】

フェアウインドきのリハビリテーション科は“地域で元気に、いつまでも”をモットーに、京都洛北地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、療法士としての専門性を発揮していきます。利用者自身が望む生活を実現できるように、疾患や機能障害にとどまらず、背景因子（個人因子・環境因子）へ十分配慮した、多職種共同による自立支援を行います。

また、生活行為向上マネジメントモデルに基づいた支援プロセスを重視します。生活行為とは、その利用者にとって「意味のある」行為のことを指します。生活行為向上を図るために必要な要素を分析し、改善へむけた段階付けに基づくプログラムを立案し、実行します。このプロセスを実習で体験していただきます。

## 【事前課題について】

1. 施設HP、リハビリ科HPを見て施設の特徴を把握してください
2. 実習生向けのページにアクセスし、老健について学習してください
3. 認知症利用者への対応やリハビリについて学習しておいてください
4. 以下の内容について事前にレポート作成してください（HPから用紙をダウンロードしてください）
  - ① セラピストを目指した理由やきっかけは？
  - ② 趣味、特技、長所などについて自己PRをしてください
  - ③ 学校の授業で好きな科目とその理由について
  - ④ 将来どのようなセラピストになりたいですか？
  - ⑤ 今回の実習での目標や得たい成果はどのようなものですか？
  - ⑥ 「リハビリテーション」を中学生むけに説明してください



## 【準備するもの】

- ・昼食を持参ください。用意も可能ですが1食400円です。当日朝に申請が必要です。
- ・ケーシー、上履きシューズ、名札、白靴下、(冬季はジャージやカーディガン着用可)、その他評価に必要と思われる用具
- ・デイリーノート(評価実習以上はA4リングファイルを使用してください)
- ・通勤の服装は、**初日から平服**(常識で考えられる学生らしい服装)で結構です。
- ・ノートPCの持ち込みも可能です。

## 【初日の集合場所】

施設受付に声をかけてください。8時45分までに更衣の上、リハビリ室に集合します。  
(8:50から療養棟での朝礼があります)

## 【アクセス・送迎バスについて】

叡山電車「木野」駅からは徒歩3分です。

地下鉄の場合、国際会館駅と施設を送迎します。平安教会前に8時20分までに集合してください。



- 実習までに、ご自身の健康管理に最善をつくしてください。
- 事前の連絡が必要であれば、実習担当者あてに電話ください。

代表電話 075-712-5252、リハビリ科直通 075-744-0025

医療法人 稲門会

フェアウインドきの

OT 小松 PT 本田 ST 山下